

吹田市吹奏楽団 第78回定期演奏会

SUITA-CITY
WIND ENSEMBLE



2025年
5月3日(土・祝)

吹田市文化会館
メイシアター
大ホール

主催 / 吹田市吹奏楽団 後援 / 吹田市・吹田市教育委員会

ごあいさつ

吹田市吹奏楽団

本日は吹田市吹奏楽団第78回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。当団は、「音楽を身近に感じていただく」という思いを大切に、地域の皆さまに音楽をお届けすることを使命として活動しています。定期演奏会を中心に、吹田市内での各種イベントにも積極的に参加し、音楽を通じて地域社会とのつながりを深めています。

今回のテーマは「音楽で巡る世界と冒険」。吹奏楽の定番曲から映画音楽まで、皆さまに親しまれている作品を中心に、特にお客様アンケートでご希望の多かった楽曲を取り入れて演奏いたします。私たちの演奏が、皆さま一人ひとりにとって心に残るひとときとなり、音楽の力を改めて感じていただけるよう、精一杯努めます。

どうぞ、素晴らしい音楽の旅を共に楽しみください。

指揮 石田 忠 昭

相愛大学音楽学部卒業、研究課程修了。ユーフォニアムを日野圭一・下濃正浩・小牧茂・三浦徹、トロンボーンを芝辻宣雄、作曲理論を山田光生・保科洋、指揮を東儀祐二・酒井睦雄の各氏に師事。F.フェネルのコンダクターズクリニック参加。ヤマハ新人演奏会等に出演。オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、新星日本交響楽団等に客演。ブリーズ・ブラス・バンドに1990～2000年在籍。NHK連続テレビ小説「てっぺん」のユーフォニアムと指揮の指導を担当、「ブギウギ」に出演。

現在、ESA音楽学院専門学校非常勤講師。Dolce Music Academy講師。阪南大学文化会吹奏楽部・大阪管楽アンサンブル常任指揮者。吹田市吹奏楽団・NEWs指揮者。BANDE Wind Orchestra指揮者代行。The Brass Bar 10音楽監督。作・編曲家。

指揮 池 口 信 行

中学生からトロンボーンを始め、学生指揮者を務めたことで、音楽づくりにも深い興味をもつ。

吹奏楽指導者のためのクリニックや認定試験などを通じて研鑽しながら、合奏指導法や音楽づくりの基礎を森本努氏、指揮法を森上芳郎氏に師事。2018年までJR西日本吹奏楽団に在籍して指揮者を務め、JR西日本硬式野球部応援曲の作・編曲や、JR西日本社歌「明日へ向って」吹奏楽版（公式）の編曲などを行う。2022年より吹田市吹奏楽団トロンボーン奏者。2023年より団員指揮者に任命される。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

当団の演奏会情報をご希望の方は公式LINEの友達追加をお願いします

本日の演奏会についてアンケートにご協力をお願いします

吹田市吹奏楽団
公式LINE▶



演奏会
アンケート▶



プログラム

第Ⅰ部

指揮：石田 忠昭

華麗なる舞曲 Danse Folâtre	クロード・トーマス・スミス Claude T. Smith
朝鮮民謡の主題による変奏曲 Variations on a Korean Folk Song	ジョン・バーンズ・チャンス John Barnes Chance
吹奏楽のためのシンフォニック・ソング Symphonic Songs for Band	ロバート・ラッセル・ベネット Robert Russell Bennett
第1楽章 セレナーデ 第2楽章 スピリチュアル 第3楽章 セレブレーション	

第Ⅱ部

指揮：池口 信行

エル・カミーノ・リアル El Camino Real	アルフレッド・リード Alfred Reed
リバーダンス Riverdance	ビル・ウィーラン/編曲:建部知弘 Bill Whelan/Arr. Tomohiro Tatebe
ライオン・キング・メドレー The Lion King Medley	エルトン・ジョン/ハンス・ジマー&レボハング・モラケ Elton John/Hans Zimmer & Lebohang Morake
「千と千尋の神隠し」Highlights Highlights from Spirited Away	久石譲/木村弓/編曲:鈴木英史 Joe Hisaishi/Yumi Kimura/Arr. by Eiji Suzuki

曲目紹介

華麗なる舞曲 クロード・トーマス・スミス

『フェスティバル・ヴァリエーション』の作曲者として知られるスミスは、1932年にアメリカで生まれ、大学でホルンと作曲を学びました。1986年当時、全米最高の吹奏楽団と言われていたアメリカ空軍軍楽隊から委嘱を受けて本作を作曲し、同年12月に初演されました。

空軍バンドの演奏能力の高さを示すことができる超難曲を作ってほしいとの依頼で作曲されたことから、高い演奏技術を示す難曲として作られており、テンポの速い部分には複雑なアーティキュレーションが含まれています。中間部には珍しいカデンツァやソロが多数あり、協奏曲的な構成となっています。ホルンを勉強していた作曲者は曲の最後にホルンの見せ場を用意しており、トロンボーンのリッツァンドを合図にクライマックスまで展開される構成で、全パートに聴きどころ、聴かせどころが組み込まれた曲となっています。

朝鮮民謡の主題による変奏曲 ジョン・バーンズ・チャンス

チャンスはアメリカ出身の作曲家で、1950年の朝鮮戦争に従軍中、韓国で触れた朝鮮の民族音楽を元にこの曲を作曲しました。主題となるのは有名な「アリラン」の旋律で、全体は5つの変奏と終曲で構成されています。

序奏はクラリネットのユニゾンで主題が提示され、その後、ウッドブロックや木管楽器、オーボエ、トランペット、鍵盤打楽器などが使われ、各変奏で異なる音楽的な表現が展開されます。特に朝鮮民謡でよく使われるヨナ抜き音階（ファとシを抜いた音階）が特徴的です。この曲は1966年にABAオストワルド賞を受賞し、日本の吹奏楽界でも多くのコンクールで取り上げられています。

吹奏楽のためのシンフォニック・ソング ロバート・ラッセル・ベネット

アメリカ生まれの作曲家ベネットは、ハリウッドの映画撮影所で働いていた経験から、ミュージカル映画の作編曲を多数手がけ、1955年には映画『オクラホマ!』でアカデミー賞を受賞しました。この曲は、1949年作曲の「古いアメリカ舞曲による組曲」と並ぶ代表作で、3つの楽章から構成されています。

第1楽章「セレナーデ」は、8分の3拍子を基本にしつつ、2拍子のようにも聞こえる工夫がされており、旋律とリズムの対比が魅力です。第2楽章「スピリチュアル」は黒人霊歌風の旋律で始まり、ゴスペルの要素や軽快なリズムが展開され、ピッコロによる主題の再現で終わります。第3楽章「セレブレーション」は祝祭的で、民謡風の旋律やユーモラスな演出を交えながら、にぎやかに締めくくられます。

エル・カミーノ・レアル

アルフレッド・リード

「王の道」と訳されるタイトルに「ラテンファンタジー」の副題がついたリードの代表作です。スペイン舞曲の要素を取り入れた構成で、金管による力強いファンファーレから始まり、ホルンが3拍子のスペイン舞曲をベースにした旋律を勇壮に演奏します。この旋律は木管楽器、そして全体へと展開され、序盤が終わります。中間部ではオーボエのソロに導かれて哀愁ある第2主題が現れ、やがてファンダンゴ形式の躍動的な旋律へと発展します。後半は打楽器アンサンブルに始まり、クラリネットが第1主題を変形して提示し、金管による第1主題の再現と、木管によるファンダンゴ旋律の再登場が重なり合い、最後は軽快なリズムの中で壮大にクライマックスを迎えます。

リバーダンス

ビル・ウィーラン / 編曲：建部知弘

リバーダンスは、1994年にアイルランドで初演され、その斬新なダンスパフォーマンスと情熱的な音楽で世界的に大ヒットした舞台作品です。作曲を手がけたウィーランの音楽は、アイルランドの伝統音楽と現代的な要素を見事に融合させ、そのエネルギーとリズムが全世界に衝撃を与えました。

この編曲では、舞台におけるダンスの迫力や美しさを、吹奏楽ならではの響きで表現しています。アイルランドの風を感じる軽快なテンポと打楽器が力強く響き渡る中で、物語が音楽を通じて鮮やかに展開していきます。

ライオン・キング・メドレー

エルトン・ジョン / ハンス・ジマー & レボハング・モラケ

ディズニー映画『ライオン・キング』（1994年公開）は、アフリカの大地を舞台に、主人公シンバの成長と仲間との絆を描いた感動のアニメーションです。この吹奏楽メドレーは、映画の中でも特に印象的な4曲で構成されています。「サークル・オブ・ライフ」は生命の誕生を祝う壮大な曲、「早く王様になりたい」はシンバの希望を明るく表現。「愛を感じて」は心温まるバラード、「キング・オブ・プライドロック」は物語を締めくくる感動的な一曲です。

「千と千尋の神隠し」 Highlights

久石譲 / 木村弓 / 編曲：鈴木英史

この曲はスタジオジブリの不朽の名作『千と千尋の神隠し』の印象的なシーンを彩る楽曲を吹奏楽用にアレンジしたメドレーです。映画の主題歌「いつも何度でも」、メインテーマで、ノスタルジックで幻想的な旋律が印象的な「あの夏へ」、釜爺のシーンを彩るユーモラスで怪しい雰囲気表現した「ボイラー虫」、湯屋の日常をコミカルに表現した「仕事はつらいぜ」、ハクの過去と千尋との絆を静かに描いた「竜の少年」、映画の終盤に流れる「ふたたび」まで、聴く人の心に映画の名場面が次々と蘇ります。